



2010年11月1日発行
 発行人：河野 忠友
 発行所：〒650-0024 神戸市中央区
 海岸通8神港ビルヂング509
 TEL：078-393-0050
 FAX：078-393-0051
 E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
 URL：<http://www.kobekeio.org/>
 編集人：齋藤 洋邦

～9月例会レポート 映画製作の 舞台裏神戸ロケ敢行の「ふたたび」～

櫻井 玲央 (平19政)

9月2日午後6時30分より生田神社会館3階「梅」にて映画監督兼俳優、塩谷俊氏をお招きし、9月例会が開催されました(出席者37名)。参加人数も月毎に増え、例会が様々な場所以で行われており、毎回楽しみでなりません。



残暑厳しい中の開催でしたが、みどりに囲まれた生田神社会館での例会は幾分か涼しく感じました。

新社屋が完成された佐井会長のお言葉に始まり、塩谷氏による日頃聞けないような監督業や俳優業の裏話が盛りだくさんでした。

『おしん』や『釣りバカ日誌』などに出演されている塩谷氏の俳優時代の苦労話、海外での演技が評価され新しいステップを駆け上っていく過程など非常に興味深く、聞き入っておりました。

「映画は興行としては10%の作品しか回収できない」

この言葉は大変意外でした。昨今の邦画ブームの中で売れる映画は儲かっているイメージがありましたが、その実はテレビ局主導で制作されているものでドラマの延長であるとのことでした。

売れない題材は作られない映画界にあって塩谷監督は常に映画を通じ問題提起をされています。

11月13日から全国で公開される『ふたたび Swing Me Again』もその一つだそうです。

ハンセン病でメンバーが引き裂かれたジャズバンドの復活を描いた映画であり、ハンセン病は映画の題材に取り上げられることは通常なく、各所から制作に反対されたそうですが、映画に対する



情熱と目の前にある感動をしっかりとりたいとの姿勢で形にすることができたそうです。

ロケに使われた神戸の風景も多く出てきますので、試写会に参加できなかった私も是非見に行ってみようと思います。

<http://futatabi.gaga.ne.jp/>

塾の卒業生は各方面で活躍されていらっしゃることを改めて感じた一日でした。



～～10月例会レポート

「交渉学への招待」～～

是枝 洋介 (平6環)

10月8日午後6時30分より、神戸ポートピアホテルにて、慶應義塾大学法学部の田村次朗教授をお招きし、10月例会が開催されました。出席者が40名と多く、直前になって広い部屋に変更になる程の盛況ぶりでした。

講演のタイトルは「交渉学への招待」。田村先生の研究テーマの一つである「交渉学」のいわば入門編を紹介していただきました。「交渉は勝ち負け



を競うものではない」という趣旨から講演がスタートし、「交渉学」とは交渉相手

をいかにして打ち負かすのかを研究する学問なんだろうなどと考えていた私は、冒頭から考えを改めることとなりました。

講演の内容は実践的なものが多く、ビジネスでは勿論のこと、様々な場面で（家庭でも？）利用できるように思われました。田村先生の説得力ある語り口もあって、当日は一種の興奮状態に陥り、すぐにでも実践してみたい衝動にかられるほどでしたが、生半可な理解で用いても痛い目をみるだけのように思われますので、少し落ち着いて知識を整理したいと思います。



当日、田村先生より、著書「交渉学入門」（日本経済新聞出版社）を倶楽部に寄贈していただきました。この著書にも「交渉力は学んで鍛える」とあります。皆さま、先生の著書で交渉学について学び、豊かで実りある交渉力を身に付けましょう。

以下、ご講演内容を抜粋して紹介します。

「交渉は勝ち負けを競うものではない」

スポーツ等と異なり、交渉は勝ち負けを競うものではない。交渉では、勝ち負けではなく、利益を作り出したか否かを意識すべきである。

「交渉前にしっかりと準備をする」

交渉前の準備がいい加減だと、合意内容の如何に関わらず、合意したという事実をもって容易に自分を正当化してしまう。また、相手から揺さぶりを受けると、簡単に譲歩しがちである。客観的な目を持つために、しっかりと準備をした上で交渉に臨むべきである。

「準備の際にはBATNAを考慮しておく」

合意が成立しなかったときの代替案がBATNA (Best Alternative to a Negotiated Agreement) である。もし合意できなかつたらどんな選択肢があるのかを考えることにより、交渉の価値を見極めることが可能になる。また、BATNAを用意しておらず、そのことを相手に知られてしまった場合、その相手は譲歩しなくなるため、自分にとって不利な交渉になってしまう。



「アンカリングに引っかからないよう気をつける」

交渉相手の提案を交渉の前提としてしまい、自分の主張が自由にできなくなることがアンカリングである。交渉の目的を明確に持っていれば、アンカリングに引っかかることを防止することができる。

「クリエイティブオプションが大事である」

自分が正しいことを一方的に主張するだけでは合意を得ることはできない。相手の利益がどこにあるのかを把握し、その相手の利益と自分の利益の両方を満足するようなクリエイティブオプション（柔軟な発想による選択肢）を目指すことが重要である。

「二分法の罠に気をつける」

交渉相手が提示してきた二分法に乗っかってしまうと、交渉相手のペースで話が進んでしまうことが多い。イエスカノーかと問われても、すぐにイエスカノーで答えず、不明な点を逆に質問する等の対応をとることが望ましい。

「交渉上手は聞き上手である」

口達者の人が交渉上手だと思われがちだが、相手から情報を引き出す聞き上手が交渉上手であると言える。さらに一歩進み、情報を引き出すのみでなく、自分が主張したいことを相手に言わせるところまでいけば一流である。



～～慶應對早稲田對抗

ゴルフコンペレポート～～

野田 敬二（昭58経）

まず平成22年9月8日の対抗戦は、神戸慶應倶楽部の参加申込者が5名あったにもかかわらず、残念ながら台風9号の影響で3週間延期になりました。

そして待ちに待った平成22年9月29日（水）は、気温20度・快晴微風の絶好のゴルフ日和の下で、第44回 慶應對早稲田対抗ゴルフコンペが神戸ゴルフ倶楽部で開催されました。参加者は神戸

早稲田倶楽部 7 名、神戸慶應倶楽部 1 名でした。結果は、ゴルフ経験と人数で上回る、早稲田勢が上位を独占し、唯一、神戸慶應倶楽部から参加した私・野田敬二はブービー賞を獲得するに留まりました。

ラウンド後、倶楽部ハウスで会食と写真撮影・表彰式が行なわれました。神戸ゴルフ倶楽部の 53 年前からのメンバーで、阪神大震災後、神戸ゴルフ倶楽部代表を 10 年間勤められた樽本久さん(神戸早稲田倶楽部)による日本ゴルフ界の歴史についての特別講義があり、参加者一同、聴き入っていました。特に、ゴルフ用語・マナーについての説明は、明快で分かりやすいもので、今後のゴルフ同好会活動の場で随時披露する予定です。



会員だより

《新入会のご挨拶》

倉片 哲絵 (平 18 文)

このたび神戸慶應倶楽部に入会させて頂きました、平成 18 年文学部卒の倉片哲絵と申します。先日のサマーパーティーから参加させて頂いております。以後、どうぞ宜しくお願い致します。

私は現在、神戸に本社を置く住宅設備機器メーカーの国際事業部に勤務しています。新卒で 2006 年 4 月に入社し、この 3 月までは名古屋支店でガス会社系のルート営業を担当していました。弊社の主力商品はガス給湯器なのですが、名古屋はライバルメーカー 2 社の本拠地のため、非常に苦しい戦いをし続けて鍛えられた 4 年間でした。販売店の在庫 1 本を「取った取られた」で毎日大騒ぎし、お客さまに育てられてようやく一人前になったところで、社内公募制度で国際事業部へ異動することになりました(と言っても英語は話せませんが・・・)。今は、どの国に何をどうやって輸出するか、といった企画業務を担当しています。慣れない貿易用語や独特の業界英語、海外出張、「お風呂」の考え方の違いなどに四苦八苦していますが、若手ならではの「人に聞ける」特権を活かして、日々勉強しながら仕事に取り組んでいます。

社会人経験はまだまだ語れることが少ないので、私の学生時代のことをお話ししたいと思います。私は埼玉県にある浦和明の星女子高等学校から、

文学部に入学しました。出身は埼玉県所沢市です。高校時代は勉強よりも部活や委員会のような課外活動ばかりに熱中し、卒業アルバムを見てもほとんどジャージで写っているような生徒でした。あとから聞いた話ですが、当時の先生方は「これほどこの大学にも受からなかったら下級生に示しがつかなくなるところだった」と私(と私の友だち)の行く末をだいぶ心配していたそうです。

そんな熱い高校時代でしたので、大学でも何かやりたい、という気持ちがとても強く、入学後は慶應義塾体育会器械体操部に入部しました。塾体育会器械体操部は日本最古の体操部であり、私たちが入部した 2002 年はちょうど創部 100 周年でしたので、いきなり部や塾体育会の伝統を見せつけられました。決して大きくも強くもない部でしたが(今はかなり強い部です)、先輩・後輩のつながりが非常に強く、高校生から OB・OG まで一体となって競技に取り組むような雰囲気があり、今もその流れが続いていることを嬉しく思います。紆余曲折あって、選手ではなく主務として部生活を送りましたが、この体育会での 4 年間は大事な仲間を得られただけでなく、その後の人生でも自分の糧になる経験をたくさん積ませてもらいました。今巷では「ドラッグのマネージメントを部活に・・・」みたいな本が人気になっているようですが、実はこの頃から塾体育会では「マネージメントを部活に取り入れる」という教育が既に始まっていたのをご存知でしょうか。私がいた当時は「LEAP(Leadership and athlete program)」という講座で、マネージメントを部の運営に活用していくためのさまざまな方法論を学び、実際に第一線で活躍されている先輩方と直接マネージメントについて議論する、という内容でした。今でも会社の机に当時のテキストを入れており、何かあるとこのテキストに立ち返って物事を考えるようにしています。体育会といえどかく「脳みそ筋肉」のようなイメージを持たれがちですが、「部だけではなく社会で役立つリーダーになれ」というこのプログラムを通して、「運営」「経営」「勝つこと」を理論的に考える癖がついたと思います。

体育会以外にも、メディア・コミュニケーション研究所(昔の新聞研究室)に所属して子どもとメディアについて研究したり、図書館・情報学専攻では図書館の中を資料を探してさまよったり、図書館実習を経験したり、とても忙しい学生生活でした。「学生時代はどんなことして遊んでいたの?」と聞かれても、何をして遊んだかほとんど記憶にないくらい遊ばせませんでした。今の私を確かなものにしてくれたのは、間違いなく慶應義塾だと思っています。

最初に配属された名古屋では、初めての一人暮らしと仕事に振り回されて慶應どころではありませんでした。2008 年に「三田水曜倶楽部」に参

加したのが慶應と私を再び結びつけるきっかけとなりました。普段はお客さまと社内の人しか会わないような生活でしたので、塾の先輩方から聞けるお話が非常に刺激的で、どんなにグッタリして出席しても、帰りには「よし、明日も頑張ろう」とシャキッとしていたことを思い出します。そんな経験から、「どこに異動しても三田会には入ろう」と思うようになりました。地元からは遠く離れてしまいましたが、同じ塾出身というだけでこんなにも温かく迎えてくださる方がたくさんいて、私としては非常に心強いです。これからこの神戸慶應倶楽部でどんな方とお会いして、どんなお話をお聞きできるのか、とても楽しみにしております。若輩者ではございますが、今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

《新入会のご挨拶》

植田 万理子 (平 14 法)

平成 14 年 3 月に政治学科を卒業しました植田万理子と申します。通信社に勤務しており、これまで札幌、釧路、大津に転勤し、平成 19 年 5 月から神戸に赴任しました。兵庫県は幼少のころ、父の転勤で芦屋市に 3 年間住んでいたことがあり、赴任の際には当時を懐かしく思い出しました。神戸に来て 3 年ほど経つにもかかわらず、最近になってこちらの会の存在を知り「もっと早く知っておけば・・・」とちょっぴり後悔しています。

在学中は、ラグビーの試合を見に行くのが好きで、また私が在籍していたころは創部 100 年で大学選手権に優勝したころだったので、とても楽しく観戦した思い出があります。今でも早慶戦と言えば私にとってはラグビーで、秋になると慶明戦、慶早戦を見に行きたくなります。都合がつかず、なかなか行けないのですが・・・。

神戸は海と山があり、とても暮らしやすい町で気に入っています。ただ仕事以外の知り合いはまだまだ少ないので、こちらの会を通じてみなさまとお会いできることを楽しみに入会させて頂きました。どうぞよろしくお願い致します。



《新入会のご挨拶》

細田 浩之 (昭 58 政)

昭和 53 年法学部政治学科卒業の細田でございます。簡単ではございますが、自己紹介をさせていただきます。

4 年間、体育会競走部 (陸上競技部) に所属、専門は、短距離 (100m、200m、400m リレー)。100m

の最高タイム 10 秒 75、東京六大学陸上で 400m リレー優勝、100m3 位の成績を修めました。大学 4 年の時、400m リレー走を担当、日本学生 2 位を記録 (40 秒台)。一方、大学 2 年より、3 年間、生田正輝研究会 (マス・コミュニケーション論) に所属。日吉での練習終了後、三田を起点に、六本木界限を中心に塾外ゼミ活動を実践しました。

大学卒業後は、三井物産(株)に入社、本店食品部へ配属。その後、南米チリ→本店→南米チリ→本店→シンガポールより本年 5 月帰国。6 月より現在の勤務先へ出向しております。入社以来、基本的には、国内外で、各種食料関連の貿易 (輸出入・三国間) を担当。特に、3 度の海外勤務 (チリ 2 回・シンガポール、通産 14 年間) 中、三田会の活動 (食事会・スポーツ関連を中心に) には、積極的に参加し、塾員の交流に努めました。

関西との繋がり、親の転勤により大阪 3 箇所 (東住吉/阿倍野/枚方)、京都に住んだことがあります。1978 年大阪府立枚方高校卒業後、京都駿台予備校で一年間修行 (?) したのが最後であり、30 年ぶりの関西となります。現在、会社は神戸 (東灘区深江浜)、自宅は阪急・芦屋川界限です。

現在の勤務先 (甲南ユーティリティ) は神戸市東灘区深江浜・神戸東部第 4 工区の食品コンビナートの進出企業 (三井製糖、J-オイルミルズ、日本製粉等) への蒸気エネルギー供給、排水処理を行う会社で、24 時間/365 日操業しております。約 40 年前、神戸市埋立事業で三井物産がオーガナイザーとなったのがきっかけで当社を設立し、現在有力企業誘致等を推進しております。

神戸慶應倶楽部のみなさま、今後とも宜しくお願い致します。

同好会だより

イーゼル会

《今月の絵》



廣川 守 (昭 57 政)

イーゼル会では年2回の写生会の他、毎月2回クラブルームで水彩画を楽しんでいます。花や果物、魚等いろいろなモチーフに向かって筆を動かす事も勿論ですが、筆を動かしながらの政治・経済からゴルフ、食べ物に至る三田会らしい会話が又絶品の味わいです。

一度のぞいてみたい方は天木までご一報下さい。

イーゼル会世話人 天木 明

読書会

《神戸慶應倶楽部読書会 第12回》

第12回目の学問のすすめ読書会が9月15日(水)に行われました。参加者は、堀切、浅沼、藤井、六拝、左川、福野、阪本、野田、鈴木、古武、池田の11名でした。ちょうど前日に政権党である民主党の代表選挙の結果も出ており、今後の政府の経済政策に興味が高まっているところでしたので、堀切さんに「日本は戦後なぜ高度成長をとげることができたのか」というテーマで日本のかつての経済大国を成り立たせた条件についての分析をお話頂きました。このテーマで熱い議論をしているうちにあっと言う間に時間が経ってしまいましたので、学問のすすめの輪読は今回お休みです。代わりに、六拝さんから福澤先生の「修身要領」についての資料(都倉)が紹介されました。

第2部では、池田さんの大阪、京都、奈良、神戸の文化風土に関する深い蘊蓄を肴にビールやワインを楽しみました。日本の経済政策の貧困さは早稲田大学の政経学部の受験科目にあるという珍説も飛び出しましたが、妙に説得力がありました。今回は活きた経済と政策の勉強会になりました。

(その翌日政府・日銀が円売り・ドル買いの為替介入に踏み切りました)

次回は平成22年11月16日(火)18:30から、阪本豊起副会長の事務所(建隆ビルⅡ3階)で、「学問のすすめ」第12編から始めます。2部の飲み会の割り勘代3,000円と「学問のすすめ」(岩波文庫)を持って気軽においでください。会場は神戸慶應倶楽部のある神港ビル(旧居留地8番)の西隣(東京海上)の更に西隣(6番)の全面ガラスの建隆ビルⅡの3階です。商船三井ビルの東隣です。18:30以降は正面玄関が閉まるので地下通用口からお入りください。但し、お酒とさかなの準備がありますので、前回の出席者以外の方は阪本まで事前にご連絡頂ければ幸いです。

読書会世話役 阪本豊起

KKJC

《♪第29回 神戸ジャズストリート♪》

今年も10月9日~10日の2日間恒例の神戸ジャズストリートが開催された。小粋な北野坂周辺の11会場で繰り広げられる一流ミュージシャンによるナマの演奏と歌は、ジャズ発祥の地である神戸にぴったりのイベントだ。



初日に行われる三宮からのパレードに、毎年KKJCのメンバーで参加しているが、本年は所用でとりやめた。しかし、2日目は秋晴れの好天に誘われて、友人とでかけたが、どの会場もジャズファンで大入りの盛況だった。特に、神戸外国倶楽部での北村英治(クラリネット)と秋満義孝(ピアノ)の競演は見事だった。

「ジャズのお好きな方は、一緒に楽しみましょう！」

KKJC 近藤 正

ゴルフ同好会

《ゴルフ同好会からのお知らせ》

兵庫県ゴルフ連盟主催の「のじぎくチーム対抗戦」2011 ゴルフ大会・予選ラウンド(6月中旬の平日開催予定)に、神戸慶應倶楽部ゴルフ同好会から1チーム(6名で構成、3名以上兵庫県在住者、レディース1名以上、シニア55歳以上1名以上)エントリーする予定です。

つきましては参加資格(JGAハンディキャップ30.0迄保持者)を満たすゴルフ同好会の皆様、奮って御参加ください。

以下、ゴルフ同好会の今後の予定をお知らせさせていただきます。

- ・11月12日(金)
オリエンタルGCにて練習ラウンド
(ハンディカメラ撮影付)
- ・3月18日(金)
三木GCにて、のじぎくチーム対抗戦ゴルフ予選ラウンド壮行コンペ開催予定

ゴルフ同好会世話人 野田 敬二

関西合同三田会のご案内

本年の関西合同三田会近江慶應倶楽部主催で、11月21日に大津で開かれます。

2011年の関西合同三田会は我が神戸慶應倶楽部が主幹事となります。

関西他三田会、慶應倶楽部より多くの塾員にお出で願うためにも本年の近江慶應倶楽部への協力は不可欠であります。

来年の成功を目指し、お一人でも多くの参加、または登録をお願い致します。

お申し込みは11月10迄。詳細は倶楽部ルーム
(078-393-0050 11AM~3PM)までお願い致します。

普段、会の行事に出席できない方、遠隔地の方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。

B R B編集部 kobekeio@dream.ocn.ne.jp

～～今後の行事予定～～

11月12日(金)	ゴルフ同好会	刈エンタルGC
11月16日(火)	読書会	健隆ビルII
11月21日(日)	関西合同三田会	大津プリンスホテル
12月4日(土)	クリスマスパーティー	神戸ポートピアホテル
1月10日(月)	福澤先生誕生記念祝賀会	
1月14日(金)	1月例会(不動産三田会と合同)	
3月18日(金)	ゴルフ同好会	三木GC
3月	3月例会	東天閣

～～クリスマスパーティーのご案内～～

日時：2010年12月4日(土) 18:00より受付

場所：神戸ポートピアホテル

会費：11,000円(会員)、家族 -2,000円

ビジター +1,000円、小学生以下無料

「神戸 KEIO スペシャル JAZZ ライブ！」

関西で大人気のジャズシンガー“高橋リエ”さんをお迎えし、クリスマスらしいお洒落で楽しい45分のstageをお楽しみ頂きます！！

恒例のオークションを開催いたします。

必ずお一人一品以上の出品をお願いします。

～～新年例会のお知らせ～～

日時：2011年1月14日(金) 18:30より受付

月例会(講演会等) 19:00~20:20

会食(新年会) 20:30~22:00

場所：西村屋 和味旬彩(そごうパーク南側)

演題：関西不動産三田会合同例会

「なぜ企業は不祥事に導かれるのか

～日本陸軍に学ぶ組織の不条理」

講師：菊澤研宗(昭56商卒 塾商学部教授)

会費：8,000円(H13以降卒&女性は5,000円

ビジター +1,000円 ゲスト 3,000円

～事務局よりお願い～

◆例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、必ず事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、前々日からのキャンセルにつきましては例会費全額を頂きますのでご了承ください。

◆住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。

詳細はその都度お知らせいたしますので、毎月のメールマガジンでご確認ください。